

## 企画展 絵本を楽しむ—絵本原画展

当館名誉館長クリヨウジにちなみアニメや漫画、イラストに親んでもらう企画展をシリーズで開催します。絵本原画展示のほか親子で楽しめるイベントがもりだくさんです。

～H@L 絵画と絵本の世界・20年の軌跡～

会期：4月29日(金・祝)～5月15日(日)

会場：展示ホール1・2

福井が画家人生のスタート地点というH@L(浦田晴之氏)の20年間の画業を紹介。新作を含めた70点の絵画作品と絵本処女作『モイモイのポッケ』(第24回ニッサン童話と絵本のグランプリ 絵本部門大賞作品)原画、最新作『おおきなうみと ちいさなマーヴィ』(フレーベル館)の原画を展示します。



待ちわびた春



大丈夫



おやすみの前に

## ペネロペ 絵本原画展

会期：7月30日(土)～9月4日(日)

会場：展示ホール1・2

ゲオルグ・ハレンスレーベンとアン・グットマン夫妻によって描かれた『ペネロペ』は、フランスで2003年に出版されて以来、世界中で人気を集め、日本ではアニメ『うっかりペネロペ』も親しまれています。『ペネロペ』はちょっとぴりうっかりやさんの3歳のコアラの女の子の成長をほのぼのと描いた作品です。

本展では、美しく繊細な色使いの絵本原画のほか、スケッチなど100点以上を紹介します。



【ペネロペのしんがつき】より



【ペネロペかずをかぞえる】より



【おやすみなさいペネロペ】より

© Gallimard Licensed by N.A.

## 企画展 陸軍歩兵36連隊とさばえ—未来への足跡—

会期：7月30日(土)～9月4日(日)

会場：展示室2・3

幕末の開国から50年以上を経た日本、そこには古きを捨てて欧米列強と肩を並べるために富国強兵へと突き進んでいく大きな時代のうねりがありました。

人々の生活は近代的に変化し、鯖江のまちには陸軍歩兵第36連隊が置かれて「軍隊のまち」として変革の時を迎えることになりました。ささやかな幸せと生死をかけた戦争が隣り合わせであった時代、懸命に生きた先人の眼はどのような未来を見つめていたのでしょうか。

刻々と変化してきた「鯖江」を追いかけながら、戦争から復興、そして現在に至る歩みを紹介します。



左から  
鯖江駅前 永井商店の引札  
兵隊盔



陸軍歩兵36連隊営門(明治期)

